

基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 生物リズム分科会

第 24 期・第 2 回 議事録

日時：平成 30 年 7 月 14 日（土）18 時 15 分—19 時 15 分

場所：北海道大学学術交流会館 第五会議室（札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

出席：近藤委員、上田（泰）委員、遠藤委員、大川委員、坂田委員、沼田委員、
深田委員、本間（研）委員、本間（さ）委員、吉村委員

欠席：上田（昌）委員、尾崎委員、影山委員、内匠委員

陪席：秋山修志氏（自然科学研究機構分子科学研究所教授）

審議事項

1. 第 1 回会議議事録の承認

近藤委員長より前回議事録の説明および確認があり、承認された。

第 24 期の活動方針に関して今後の課題や方向性の検討を行う予定であったが、引き続き資料のとりまとめを行うこととなった。

2. 特任連携会員の申請について

近藤委員長より、9 月 10 日の誕生日をもって連携会員としての任期が切れ、再任も不可能であることが説明された。そこで、法第 15 条・令第 1 条第 1 項・会則第 7 条に則り、近藤委員長を 9 月 11 日から残任期間終了時までを任期とする特任連携会員とするよう第二部会に申請することとなった。

3. 第 24 期における分科会活動方針の検討

参考人、秋山修志氏（自然科学研究機構分子科学研究所教授）の報告

沼田委員より、次期での提言に向けて今期中に準備していくのが良いのではないかという意見が示された。これについては、次回の分科会会議で引き続き検討することになった。

秋山修志氏からは、生物リズムに興味を持っている研究者は増えており、そうした研究者を取り込んでいくことで研究分野の厚みが増すのではないかと発言があった。

4. その他

9 月から年内をめどに東京で第 3 回の分科会会議を開催することが確認され、近藤委員長が日程調整を行うこととなった。また、審議が延期になっていた第 24 期の活動方針のうち当該分野の問題点や重要性・研究の方向性についても、引き続き検討をつづけることとなった。